科目ナンバリング	U-LAS63 10008 LJ14						
授業科目名 <英訳>	総合生存学入門II Introduction to Human Survivability Studies II			担当者所属 職名・氏名	総合生存学館 准教授 水本 憲治 総合生存学館 教授 長山 浩章 総合生存学館 准教授 金村 宗 総合生存学館 教授 関山 健 総合生存学館 准教授 Deroche, Marc-Henri		
群	統合科学科目群	分野(分類)	その他統合科学		使用言語	日本語	
旧群		単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2025・後期	曜時限	水4	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

現代のグローバル社会は極めて複雑化しており，単独の学問だけでは様々な課題を解明して有効な解決策を提示することが困難となっている。同時に、人類の状況はさまざまな危機に瀕しており、その複雑なグローバル社会の中に解決策と未来を見出す必要に迫られている。この科目は，全学の全回生を対象に分野横断型の学問である総合生存学の研究成果を紹介し，それぞれの課題（テーマ）における基礎知識を習得すると同時に，これから取り組むべき課題や学問のあり方について考えてもらう授業である。
各テーマごとに，基礎的な知識と考え方から始めて，分野横断研究の最先端の研究成果を解説する。実際の研究に触れることで，分野横断型・文理融合型の学問を理解するばかりでなく，将来の専攻分野選択をするときの指針としてほしい。

[到達目標]

・人類をとりまく地球規模課題に関する幅広い知識を得ると共に、分野横断型・文理融合型の学問に対する取り組み方や学習方法について理解する。
・貧困・飢餓・ジェンダー・気候変動・平和などを目標に，「誰一人取り残さない」とするSDGsの理念を理解して，その課題の重要性や解決法について自らの言葉で意見を発信できるようにする。

・地球の現状と未来を想定し、人類が生存しうる環境は将来どのような場所になるかを考える。

[授業計画と内容]

以下の各項目について授業を行う。コーディネーター教員から総合生存学の概要を説明する。各項目には２-３週を充てる。各回の授業では，講義の後，ディスカッションを行う。最後に，履修者全員と担当教員５名で全体討論を行う。各項目の順序は状況に応じて変更することもあるが，事前に周知する。
（１） 科目の内容と進め方の説明［水本 憲治］【１週】
（２） テーマA．SDGs×ファイナンス：生存に向けたファイナンス理論の応用 [金村 宗]【２週】
（３） テーマB． 地球の持続可能性と国際政治［関山 健］【２週】
（４） テーマC．持続可能なカーボンニュートラルな世界を考える（エネルギー、環境の観点から）［長山 浩章］【３週】
（５） テーマD．「生の知」- 良く生きるためのマインドフルネス［DEROCHE Marc-Henri］【３週】
（６） テーマE．ヒト・微生物・環境 – 科学は感染症といかに対峙していくのか [水本 憲治]【２週】
（７） 総合討論 ［全員］【２週】
コーディネーター：総合生存学館 准教授 水本 憲治

総合生存学入門II(2)へ続く↓↓↓

総合生存学入門II(2)

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

定期試験はせず、毎回の講義でレポート提出を求める。各テーマについて最低1 回の出席と1 回のレポート提出をしたうえで，5 つのテーマについて合計8 回以上の出席と8 回以上のレポート提出、ならびに総合討論について1 回の出席と1 回のレポート提出を，単位認定の最低要件とする。成績は出席とレポートにより評価する。

[教科書]

講義中に指示する資料はテーマごとにKulasis やPandA にアップロードするので，各自ダウンロードすること。

[参考書等]

（参考書）
京都大学学術出版会 『総合生存学: グローバル・リーダーのために』（2015）
京都大学学術出版会 『実践する総合生存学』（2021）
京都大学学術出版会 『有人宇宙学・宇宙移住のための３つのコアコンセプト』（2023）

[授業外学修（予習・復習）等]

テキストや講義中に紹介する文献などを参考にしながら授業外学習を行い，講義内容の理解を深めてほしい。

[その他（オフィスアワー等）]

毎回の授業でディスカッションをするので，積極的な発言を期待する。

[主要授業科目（学部・学科名）]